

平成26年度
「新潟県コンクリート診断士会」通常総会

ほんぽーと新潟市立中央図書館（3F 多目的ホール）

平成26年7月8日(火)

平成26年度

「新潟県コンクリート診断士会」通常総会次第

平成26年7月8日(火)
ほんぽーと新潟市立中央図書館

【総 会】(3階 多目的ホール 14:00~14:45)

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議 事
第1号議案 平成25年度事業報告並びに収支決算承認の件
第2号議案 平成26年度事業計画並びに収支予算決定の件
第3号議案 会則改定の件
第4号議案 役員改選の件
5. その他連絡事項
6. 閉 会

【講演会】(3階 多目的ホール 15:00~16:45)

「演題：コンクリート工学における分析技術の確立」

講師：株式会社土木管理総合試験所 所長 星野 富夫様

東京大学生産技術研究所でコンクリート構造物の鋼材腐食や劣化診断の研究に長年従事された、星野富夫様を講師としてお招きし、コンクリート工学における分析技術の確立についてご講演を頂きます。

【講師プロフィール】

昭和23年8月14日、東頸城郡牧村(現上越市牧区)生まれ

昭和42年4月 東京大学生産技術研究所第5部コンクリート研究室勤務

現在 株式会社土木管理総合試験所 所長

【懇 親 会】(会場：+3(プラスサード) 17:15~18:45)

住所 新潟市中央区東大通1-1-1 第5マルカビル3F(旧三越ブラザービル)

tel 025-253-3435

会費 4,000円

懇親会会場
プラスサード



新潟県コンクリート診断士会 ホームページアドレス

<http://www.geocities.jp/niiगतakon/>

事務局 (株)クリエイトセンター内 設計部 遠藤

TEL: 025-232-7121 FAX: 025-232-7129

E-mail endou@ngk-center.co.jp

入会金・年会費振込み先

第四銀行 白山支店 新潟県コンクリート診断士会

事務局 遠藤 潤 口座番号 1633148

「新潟県コンクリート診断士会」

平成 25 年度 事業報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

1. 事業の概況

新潟県コンクリート診断士会は、平成 20 年 10 月の設立以来、講演会や技術セミナー等によるコンクリート診断技術の向上や会員同士の親睦ならびに診断士会情報発信等の広報活動に努めてきた。これらの結果、現状における会員数は 100 余名・賛助法人 12 団体の大きな組織となった。

平成 25 年度は、「インフラの老朽化を考える」をメインテーマに講演会・技術セミナーを開催し、道路橋等のインフラ老朽化の現状と課題、コンクリート診断士の果たすべき役割についての認識を深めた。

また、新潟県他主催の技術研修会への講師派遣等による積極的な PR 活動を行った。

2. 会員数の推移

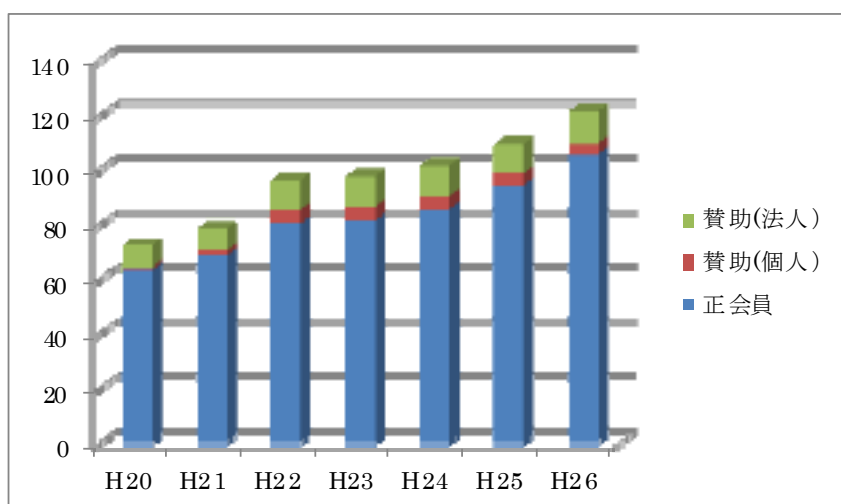


図-1 会員数の推移 (総会開催時人数)

【現会員数 (平成 26 年 6 月末現在)】

正会員	105 名
賛助会員 (個人)	4 名
賛助会員 (法人等)	12 団体

【正会員の職種構成】

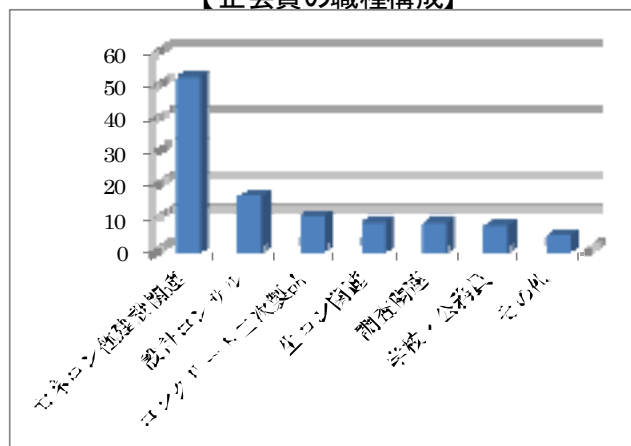


図-2 正会員の職種構成

表-1 設立からの主な活動の記録

年度	種別	月日	講演他
平成 20 年	設立総会	10 月 31 日	「コンクリート診断士の現状と将来」長岡技術科学大学 丸山教授
平成 21 年	技術セミナー	2 月 3 日	「コンクリートあれこれ」新潟工科大学 地濃教授 「補修工法及び補修材料」「診断事例」外部講師
	通常総会	6 月 18 日	「中越地震と中越沖地震における RC 学校建物の挙動について」 新潟大学 加藤教授
	技術セミナー	10 月 23 日	「塩害環境を測る」新潟大学 佐伯教授
平成 22 年	技術セミナー	2 月 10 日	「コンクリート構造物の維持管理」長岡技術科学大学 下村教授 「新潟県の道路施設管理」新潟県土木部道路管理課 町屋課長補佐 「最近の構造物診断技術」外部講師
	通常総会	6 月 10 日	「耐震補強壁における乾燥収縮ひびわれ対策の試み」 長岡工業高等専門学校 岩波 教授
	臨時総会	10 月 7 日	「コンクリートのひびわれについて」新潟工科大学 地濃教授 「 ” ” 」長岡技術科学大学 丸山教授
	現場見学会	11 月 1~2 日	国道 8 号線沿線橋梁の塩害状況・柏崎刈羽原子力発電所
平成 23 年	通常総会	7 月 7 日	「東日本大震災の被災状況」長岡技術科学大学 丸山教授
	技術セミナー	12 月 1 日	「北陸地方の損傷橋梁の現状と対応」北陸地方整備局 平賀様 「NEXCO 東日本におけるコンクリート構造物の現状と対策」西川様 「コンクリート構造物の長寿命化の課題」(パネルディスカッション)
平成 24 年	通常総会	7 月 5 日	「イタリアにおける歴史的建築物と現在の共生」建築家 鳴沢先生
	現場見学会	9 月 25 日	関越自動車道橋梁補修現場
平成 25 年	通常総会	7 月 4 日	「インフラの老朽化を考える」新潟県土木部道路管理課土田様他
	技術セミナー	12 月 3 日	「全国のコンクリート診断士会の動向」セメントジャーナル社吉田様 「コンクリート構造物の変状」伊藤副会長 「インフラの老朽化を考える (パート II)」(パネルディスカッション)

3. 会議他開催状況

(1) 通常総会 (出席会員数 73 名※) ※委任状での出席を含む

- ・平成 25 年 7 月 4 日・・・ほんぼーと新潟市立中央図書館
主な議題 平成 24 年度事業報告・平成 25 年度事業計画の承認他

(2) 役員・幹事会

- ①平成 25 年 4 月 19 日・・・新潟県生コンクリート工業組合
主な議題 平成 24 年度事業総括・平成 25 年度事業計画案策定
- ②平成 25 年 5 月 23 日・・・新潟県生コンクリート工業組合
主な議題 平成 25 年度総会開催準備・NHK 取材への対応他
- ③平成 25 年 10 月 18 日・・・新潟県生コンクリート工業組合
主な議題 平成 25 年度技術セミナー開催計画・外部研修会への講師派遣
- ④平成 25 年 10 月 31 日・・・新潟県生コンクリート工業組合
主な議題 技術セミナー準備
- ⑤平成 25 年 11 月 28 日・・・株式会社 クリエイトセンター
主な議題 日本コンクリート診断士会幹事意見書
- ⑥平成 25 年 12 月 22 日・・・新潟県生コンクリート工業組合
主な議題 平成 25 年度事業総括

4. 講演会・技術セミナー他開催状況

(1) シンポジウム（出席者数：会員 57 名＋一般 16 名）

・平成 25 年 7 月 4 日・・・ほんぽーと新潟市立中央図書館

【テーマ】 「インフラの老朽化を考える」

1. 「新潟県道路施設維持管理計画の概要」 講師：新潟県道路管理課 土田様
2. 「補修設計における課題」 講師：開発技建株式会社 近藤会員
3. 「断面修復における課題」 講師：BASF ジャパン株式会社 中村会員
4. 「新潟県内の補修事例」 講師：株式会社レックス 小林会員

(2) 技術セミナー（出席者数：会員 32 名＋一般 12 名）

・平成 25 年 12 月 3 日・・・ほんぽーと新潟市立中央図書館

➤ 基調講演会

1. 「全国のコンクリート診断士会の動向」 講師：株式会社セメントジャーナル社 吉田様
2. 「コンクリート構造物の変状」 講師：新潟県コンクリート診断士会 伊藤副会長

➤ パネルディスカッション

【テーマ】 「インフラの老朽化を考える（パートⅡ）」

【コーディネータ】 新潟県コンクリート診断士会 伊藤副会長

【パネラー】

新潟県土木部 技術管理課 工事検査室長	宮野 岳 様
株式会社 セメントジャーナル社	吉田 航 様
株式会社 木戸生コン	池浦 一雄 会員
株式会社 ダイアテック	丸山 聡 会員
株式会社 加賀田組	高橋 博弥 会員
開発技建 株式会社	近藤 治 会員

5. その他活動

(1) 新潟県土木部主催技術研修会への講師派遣

① 道路管理課主催（その1）

- ・日 時：平成 25 年 7 月 22 日（月）
- ・場 所：新潟県庁自治研修所
- ・講 師：コンクリート構造物の劣化メカニズム、補修・補強技術・・・伊藤副会長

② 道路管理課主催（その2）

- ・日 時：平成 25 年 8 月 28 日（水）
- ・場 所：新潟県庁自治研修所
- ・講 師：コンクリート構造物の劣化・診断・補修・・・・・・・・・・伊藤副会長

③ 技術管理課主催

- ・日 時：平成 25 年 8 月 23 日（金）
- ・場 所：新潟県庁自治研修所
- ・講 師：より良いコンクリートを打つための要点・・・(株)ダイアテック 柳会員

④ 治山課主催

- ・ 日 時 : 平成 25 年 10 月 10 日 (木)
- ・ 場 所 : 新潟県庁自治会館
- ・ 講 師 : 生コンクリートの基本・・・・・・・・・・(株)木戸生コン 池浦会員
コンクリートのひびわれ対策・・・・・・・・・・(株)水倉組 小林会員
コンクリート劣化のメカニズムと主な調査方法
・・・・・・・・・・(株)ダイアテック 柳会員

(2) NHK 取材への協力 (6 月 7 日新潟 610 で放映)

- ・ 日 時 : 平成 25 年 5 月 22 日～23 日
- ・ 場 所 : 橋梁点検現場他 (ダイアテック柳会員・診断士を目指す若手へのインタビュー他)
役員・幹事会 (会長へのインタビュー他)

(3) その他

- ・ 平成 25 年 7 月 12 日
生コン勉強会 (主催: 三蒲地区生コンクリート協同組合) への参加
- ・ 平成 25 年 9 月 11 日
第 1 回 新潟県コンクリート診断士親睦コンペの開催
場 所: 大新潟カントリークラブ 出雲崎コース
参加者: 12 名



【平成 25 年度収支決算書】

収入の部	会費収入	正会員	3,000×99	297,000 円
		賛助会員 (個人)	3,000×4	12,000 円
		賛助会員 (法人等)	10,000×11	110,000 円
		小計		410,000 円
	入会金収入	正会員	1,000×13	13,000 円
		小計		13,000 円
	前年度繰越金			205,676 円
	収入の部合計			637,676 円

		実績	(予算)
支出の部	総会費	(会場費・講師旅費他)	36,520 円 (150,000 円)
	セミナー関連費	(会場費・講師旅費他)	93,700 円 (150,000 円)
	部会活動費	(技術部会・広報部会活動費)	— (100,000 円)
	関係団体負担金	(日本コンクリート診断士会会費)	67,600 円 (50,000 円)
	広報費	(新聞広告費他)	30,000 円 (40,000 円)
	通信・交通費	(活動旅費他)	26,510 円 (70,000 円)
	事務・会議費	(コピー代・備品購入費)	54,956 円 (50,000 円)
	支出の部合計		309,286 円

次年度繰越金 637,676 円 － 309,286 円 = 328,390 円

監 査 意 見 書

平成 25 年度決算について、出納簿、その他の証憑書類を照合精査したところ、正確なものと認めます。

平成 26 年 6 月 12 日

新潟県コンクリート診断士会

会計監事



岳修

「新潟県コンクリート診断士会」

平成 26 年度 事業計画書

【活動計画】

新潟県コンクリート診断士会は、「コンクリート診断士」の社会的地位の向上、及び「コンクリート診断士」によるコンクリート診断技術の普及と向上に努めることにより、社会全体の健全な発展に大きく寄与することを目的とし、平成 26 年度は、以下の事業活動を行う。なお、事業の推進に当っては、技術部会・広報部会においてそれぞれの役割分担に応じた活動を積極的に行い内容の充実を図るものとする。

1. 通常総会の開催

平成 26 年 7 月 8 日（火）

2. コンクリート診断に関わる知識、技術、文化の向上に資するための事業

▶ 技術セミナーの開催（2 回）

予定時期：平成 26 年 10 月～平成 27 年 2 月

▶ 診断技術現地研修会の開催（1 回）

予定時期：平成 25 年 10 月～11 月

3. コンクリート診断士の社会的地位の向上に資するための事業

▶ 関係自治体他への研修会講師派遣

▶ 国土交通省北陸整備局、新潟県及び県内市町村等への当会と診断士制度活用のための PR 強化

4. その他

▶ 会員及び日本コンクリート診断士からの情報や賛助会員（法人等）とのリンクを貼る等によるホームページの充実、会員への情報伝達の円滑化

【予算計画】

収入の部	会費収入	正会員	3,000×110	330,000 円
		賛助会員（個人）	3,000×4	12,000 円
		賛助会員（法人等）	10,000×12	120,000 円
		小計		462,000 円
収入の部	入会金収入	正会員・賛助会員	1,000×10	10,000 円
		小計		10,000 円
	前年度繰越金			328,390 円
	収入の部合計			800,390 円
支出の部	総会費	（会場費・講師旅費他）		150,000 円
	セミナー関連費	（会場費・講師旅費他）		250,000 円
	部会活動費	（技術部会・広報部会活動費）		100,000 円
	関係団体負担金	（日本コンクリート診断士会会費）		60,000 円
	広報費	（新聞広告費他）		50,000 円
	通信・交通費	（活動旅費他）		50,000 円
	事務・会議費	（コピー代・備品購入費）		70,000 円
	予備費			70,390 円
		支出の部合計		

【会則改定の主旨】

会員数の増加に伴う役員・幹事の増員

平成 26 年 7 月 8 日改訂

新潟県コンクリート診断士会
会則

新潟県コンクリート診断士会

第 1 章 総則

第 1 条 (名称)

本会は「新潟県コンクリート診断士会」という。(以下「本会」という)

第 2 条 (目的)

本会は「コンクリート診断士」の社会的評価と地位の向上、および「コンクリート診断士」によるコンクリート診断技術の普及と向上に努め、社会全体の健全な発展に寄与することを目的とする。

第 3 条 (活動)

本会は前条の目的を達成するため次の活動を行う。

- (1) 会員間の技術交流、情報の収集および提供
- (2) 「コンクリート診断士」資格制度の普及および宣伝
- (3) 「コンクリート診断士」による診断技術に関する講習および研修
- (4) その他、本会の目的を達成するために必要な活動

第 2 章 会員

第 4 条 (会員)

本会の会員は次のとおりとする。

- (1) 正会員 本会の目的に賛同する者で、新潟県内に勤務または居住する
(社) 日本コンクリート工学協会に登録された「コンクリート診断士」とする。
- (2) 賛助会員 (個人) 本会の目的に賛同し新潟県内に勤務または居住する者。
- (3) 賛助会員 (法人等) 本会の目的に賛同し新潟県内に本社、支店、営業所等を持つ
法人または団体とする。

第 5 条 (入会)

本会の入会は、入会希望者が所定の手続きを行い、会員資格を有することが確認された場合に入会を認める。ただし、会費の納入の確認をもって会員とする。

第 6 条 (退会)

会員は、次の各号の一に該当する場合に退会する。

- (1) 退会の届けをしたとき。
- (2) 死亡したとき。
- (3) コンクリート診断士の資格を喪失したとき。

第 7 条 (除名)

会員が次の各号のいずれかに該当するときは、役員会において除名することができる。

- (1) 本会の名誉を毀損し、又はその設立の趣旨に反する行為をしたとき。
- (2) 会費を 2 年以上納付しないとき。

2 前項第 1 号の規定により会員を除名しようとするときは、その会員に、あらかじめその旨を書面で通知するとともに、弁明の機会を与えなければならない。

第 3 章 役員

第 8 条 (役員)

本会に、次の役員を置き役員会とする。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副会長 2 名～3 名
- (3) 会計監事 1 名～2 名

第 9 条 (役員を選任)

役員は、総会において選任する。

- 2 役員任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

第 10 条 (役員職務)

会長は本会を代表し、会務を統括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- 3 会計監事は会計を監査する。

第 4 章 幹事および顧問

第 11 条 (幹事)

幹事は会長、副会長を補佐し、本会の運営に携わる。

- 2 幹事は~~若干名とし~~、会長が選任する。
- 3 幹事任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

第 12 条 (顧問)

顧問は本会への協力に同意した有識者に会長が委嘱する。

- 2 顧問は会長および役員会に対し、必要な助言をすることができる。
- 3 顧問は役員会の求めに応じ、本会の活動を支援することができる。

第 5 章 総会、役員会、および幹事会

第 13 条 (総会)

総会は、この会則と別に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 事業計画および収支予算
 - (2) 事業報告および収支決算
 - (3) 会則の改廃
 - (4) その他本会の運営に関する重要事項
- 2 通常総会は毎事業年度終了後3月以内に、臨時総会は必要があるときはいつでも、役員会の議決を経て、会長が招集する。
 - 3 通常総会、臨時総会の議長は総会毎に出席した正会員のうちから選任する。
 - 4 総会の開催は、構成員の3分の1以上(委任状を含む)の出席がなければ開会することができないものとし、議決は出席者の過半数をもって議決とする。

第 14 条 (役員会)

役員会はこの会則と別に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会の議決した事項の執行に関すること。
 - (2) 総会に付議すべき事項
 - (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関すること。
- 2 役員会は会長が必要と認めるとき開催する。
 - 3 役員会の議長は会長が務める。

第15条（幹事会）

幹事会はこの会則と別に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- （1）役員会の命による、各種、講演会、研修会等の行事に関する事。
- （2）この会の運営のための具体的事項に関する事
- （3）その他、この会の運営に必要な事項の提案に関する事。

2 幹事会は会長が必要と認めたとき開催する。

第6章 会計

第16条（入会金）

本会の入会金は1,000円とし、入会時に納入するものとする。

第17条（会費）

本会の年会費は次のとおりとし、各会計年度当初に納めなければならない。会費は原則として指定する口座を利用し、振り込みに要する費用は会員個人が負担する。ただし、本会の運営上、役員会が必要と認めた場合は臨時総会で承認を得て臨時会費を徴収することができる。納入した会費はどのような事情があっても払い戻ししない。

正会員	3,000円/年
賛助会員（個人）	3,000円/年
賛助会員（法人等）	10,000円/年

第18条（会計年度）

本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第19条（決算）

本会の決算は、毎会計年度終了後、速やかに決算書を事務局が作成し、会計監事の監査を経て、総会の承認を受けなければならない。

第7章 事務局

第20条（事務局）

本会の会務を処理するため、会長の下に事務局を置く。

2 事務局長は会長が任命する。

附 則

~~1 本会の設立当初の役員任期は、第9条の規定に関わらず、当会設立の日から平成22年3月31日までとする。~~

~~2 本会の設立当初の会計年度は第18条の規定に関わらず、当会設立の日から平成21年3月31日までとする。~~

~~3 本会の設立時の会員は第5条の規定に関わらず、設立準備会に申し込みを行い設立準備会が承認した者とする。~~

~~4 会則のほかに細則を定めることができる。~~

~~5 本会の設立は平成20年10月31日とする。~~

~~6 一般社団法人日本コンクリート診断士会との連携を図るため細則を定める。~~

【平成 26～27 年度 新潟県コンクリート診断士会役員名簿】

役職	氏名	所属団体	摘要
会 長	地濃 茂雄	新潟工科大学 建築学科教授	再任
副会長	吉田 弘	(株)ナカノアイシステム	〃
	伊藤 司郎	(株)内山組	〃
	本田 明	(株)水倉組	新任
会計監事	牧 岳修	フォーラムスコープ(株)	再任
	丸山 聡	(株)ダイアテック	新任

【平成平成 26～27 年度 新潟県コンクリート診断士会幹事名簿】

役職	氏名	所属団体	摘要
幹 事	池浦 一雄	(株)木戸生コン	広報部会
	井貝 武史	(株)福田組	〃
	仲丸 政美	(株)アドヴァンス	〃
	長井 斎	新潟県生コンクリート工業組合	〃
	近藤 治	開発技建(株)	技術部会
	鶴巻 達也	(株)加賀田組	〃
	中村 博之	(株)プロダクト技研	新任
	上重 大地	銀山開発(株)	新任
顧 問	丸山 久一	長岡技術科学大学 名誉教授	
	加藤 大介	新潟大学 工学部建設学科教授	
	佐伯 竜彦	新潟大学 工学部建設学科教授	
	下村 匠	長岡技術科学大学工学部環境・建設系教授	
	岩波 基	長岡工業高等専門学校環境都市工学科教授	
事務局長	遠藤 潤	(株)クリエイトセンター	

1、開催日時:5月27日(火曜日)

日本コンクリート工学会にて開催

2、報告事項

1) 会員数:地区数16地区 会員1210名(210名ほど増加)

2) 設立検討及び加入情報

- ・宮城県(h26/4 設立 121名)今後入会予定
- ・富山県設立済み 今後入会を促していく
- ・検討中:熊本県、香川県、長崎県、山口県、奈良県など

3) メールかわら版の発行

・現在コンクリート工学会が会員個人あてにメールしている様式にして、今年度は年間2回ほど発行したい。

・地区の情報も多く取り上げていきたいので、情報をいただきたい。

4) 個人会費負担変更

・現在:500円/1名 変更(h27年度より):800円/1名

(各地区の個人会費の中から、支払っていくので、現在のところ新潟県コンクリート診断士会個人会費3000は据え置く予定。)

5) 全国業務体験発表

・今年度も11月下旬に予定している。多くの参加をお願いしたい(h25年度は9地区から12編発表、今後様子を見て、冊子にしたい)

・現在のところ各地区一遍以上をお願いしたい。(別添工程表参照)

6) インフラドック構築フェージビリティ調査研究委員会の活動

WGを作り・検査制度確立と検査員としてのコンクリート診断士の活用

- ・インフラドック現場検査手順の確立
- ・地域経済の現状と建設産業
- ・インフラドックによる建設産業のサービス化について

その他

平成26年度業務体験報告会全体スケジュール（案）

2014.06.17 JCD技術部会

項目	2014年（平成26年）												
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月						
■開催までの準備項目													
基本計画の作成、地区会へ送付、意見聴取		■											
地区士会からの意見のまとめ、基本計画（案）の作成、理事会承認		■											
地区会への開催案内と発表報文提出依頼		■											
報文の申し込み者の締め切り			■										
申し込み者へ報文の投稿（執筆）要領の送付			■										
報告会聴講参加案内及び申込書の地区会への発送				■									
報文受付締切					■								
講演者への講演要領送付										■			
■発表当日の準備													
配付資料の印刷等													
■終了後													
報告書のまとめ、JCIニュースへの投稿													
○メール理事会		○											
○事務局 mail 発送	○	○	○										
業務体験報告会開催日	<div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 開催日 11月27日（木） </div>												

黒実線；当初計画
赤実線；実施

コメント挿入